



撮影：宮本武典＋瀬野広美

講師

川俣正

講師プロフィール
一九五三年生まれ。第四十回「アーツウィーク」エンナーレ（一九八二年）、ドクメンタ8（一九八七年）、第二回「アーティスト彫刻プロジェクト」（一九九七年）、越後妻有アートトリエンナーレ（二〇〇〇年）など、国内外で多数のプロジェクトや展覧会に参加。東京藝術大学美術学部先端芸術表現科教授を経て、現在、パリ国立高等芸術学院教授。

アーカイブに総論はない。それぞれの目的によって様々な方法で、様々な物事がアーカイブ化されるべきだ。そしてそれを利用するのは実際の制作者ではなく、その時代ごとにその価値を見出す編集者（アーカイビスト）のセンスに委ねられる。

二〇〇九年に私が提唱して「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」で開設され、新潟の松代に設置された、地域のアートプロジェクトをアーカイブする「SOCIAN（Center for Interlocal Art Network）」を具体的に紹介しながら、「地域と記憶」、「記憶とアーカイブ」をテーマにお話ししたいと思います。

2016年

7月22日（金）17:30～

会場：京都市立芸術大学 中央棟L1

参加無料・事前予約不要

主催：京都市立芸術大学芸術資源研究センター